

愛媛大学医学部附属病院を受診している患者さんへ

研究に対するご協力をお願い

愛媛大学医学部附属病院では、医学・医療の発展のために様々な研究を行っています。この研究は、愛媛大学医学部附属病院の臨床研究倫理審査委員会での審査・承認後、当院で病院長の許可を受けて実施しております。

今回の研究では、患者さんのカルテの記録や画像検査データを使用します。

研究の内容を詳しく知りたい方や、カルテの情報や画像検査データを利用してほしくない方は、以下のお問い合わせ先までご連絡下さい。ただし、研究結果が出た後など研究の対象から削除できない場合もありますのでご了承ください。

※試料・情報の利用を拒否された場合でも、あなたが不利益を受けることはありません。

研究課題名	サルコペニアの腸管機能に与える影響
研究機関名	愛媛大学医学部附属病院
試料・情報の提供を行う研究機関の長	愛媛大学医学部附属病院 病院長 (試料・情報の提供元の管理責任者)
研究責任者 (個人情報管理者)	(診療科名) 消化管腫瘍外科 (職名) 助教 (氏名) 久米達彦
研究期間	研究機関の長の許可日 ~ 2027年 3月 31日
対象となる方	2010年4月から2024年3月に愛媛大学医学部附属病院を受診された方のうち直腸癌と診断され手術を行われた患者さん
利用する試料・情報等	(利用するカルテ情報) 性別、年齢、身長、体重、BMI、合併症、既往歴、身体所見、血液検査データ、画像検査データ、治療状況、手術記録 等
研究の概要 (目的・方法)	サルコペニアは、転倒、骨折、身体障害、死亡などの有害な結果をもたらす可能性が指摘されている進行性かつ広範な骨格筋疾患であり、そのリスクは加齢とともに増大します。 また、サルコペニアは様々な病態、術式における予後不良因子であることが報告されている他、術後イレウスのリスク因子や便秘の重症度とも関連しており、患者さんの健康寿命と生活の質を大きく低下させますが、本疾患と腸管機能との関連は未だ不明です。 本研究ではカルテ情報、画像検査からサルコペニアで生じる骨格筋(横紋筋)の減少と腸管平滑筋の相関を調べ腸管機能に及ぼす影響を検証することを目的としています。
個人情報の保護 について	この研究で収集される試料・情報等は氏名、住所、生年月日など患者さんを直接特定できる情報を削除して誰のものかわからないようにした上で利用いたします。患者さんを特定するための情報(対応表)は、院内で個人情報管理者が厳重に保管し外部への提供は行いません。

愛媛大学医学部附属病院単施設用

情報公開文書 作成日： 2026年1月30日 第2版

	また、保管される試料・情報等を新たな研究に利用する場合は、新たな研究として倫理審査委員会に申請し、承認されてから利用いたします。なお、研究結果は学術雑誌や学会等で発表される予定ですが、発表内容に個人を特定できる情報は一切含まれません。
お問い合わせ先	愛媛大学医学部附属病院 消化管腫瘍外科 久米達彦 791-0295 愛媛県東温市志津川 454 Tel: 089-960-5975